

## 財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券……償却原価法(定額法)をもって貸借対照表価額としている。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 会計方針の変更

該当なし

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
現金預金	78,846		78,846	0
定期預金	0	159,478,846	0	159,478,846
投資有価証券	327,693,103	12,881	159,400,000	168,305,984
小 計	327,771,949	159,491,727	159,478,846	327,784,830
特定資産				
小 計	0	0	0	0
合 計	327,771,949	159,491,727	159,478,846	327,784,830

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対する額)
基本財産				
現金預金	0	( 0 )	( 0 )	( - )
定期預金	159,478,846	( 159,478,846 )	( 0 )	( - )
投資有価証券	168,305,984	( 168,305,984 )	( 0 )	( - )
小 計	327,784,830	( 327,784,830 )	( 0 )	( - )
特定資産				
小 計	0	( 0 )	( 0 )	( - )
合 計	327,784,830	( 327,784,830 )	( 0 )	( - )

6. 満期保有目的の債券の内訳ならびに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳ならびに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
国債			
野村証券			
第310回利付国債(10年)	20,305,984	21,175,701	869,717
大和証券			
国際協力機構(10年)	100,000,000	105,150,000	5,150,000
ソフトバンク(株)第45回無担保社債(5年)	48,000,000	48,523,200	523,200
合 計	168,305,984	174,848,901	6,542,917

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、以下のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
受取寄付金	50,000,000
合 計	50,000,000

8. その他

金融商品の状況に関する注記

1. 金融商品に対する取組方針

当法人は、公益目的事業の財源の相当部分を運用益によって賄うため、債券、株式、投資信託により資産運用する。なお、デリバティブ取引は行わない方針である。

2. 金融商品の内容及びそのリスク

投資有価証券は、債券、株式、投資信託であり、発行体の信用リスク、市場価格の変動リスクにさらされている。

3. 金融商品のリスクに係る管理体制

① 資産運用規程に基づく取引

金融商品の取引は、当法人の資産運用規程に基づき行う。

② 信用リスクの管理

債券については、発行体の状況を定期的に把握し、理事会に報告する。

③ 市場リスクの管理

株式については、時価を定期的に把握し、理事会に報告する。

投資信託については、関連する市場の動向を把握し、運用状況を理事会に報告する。